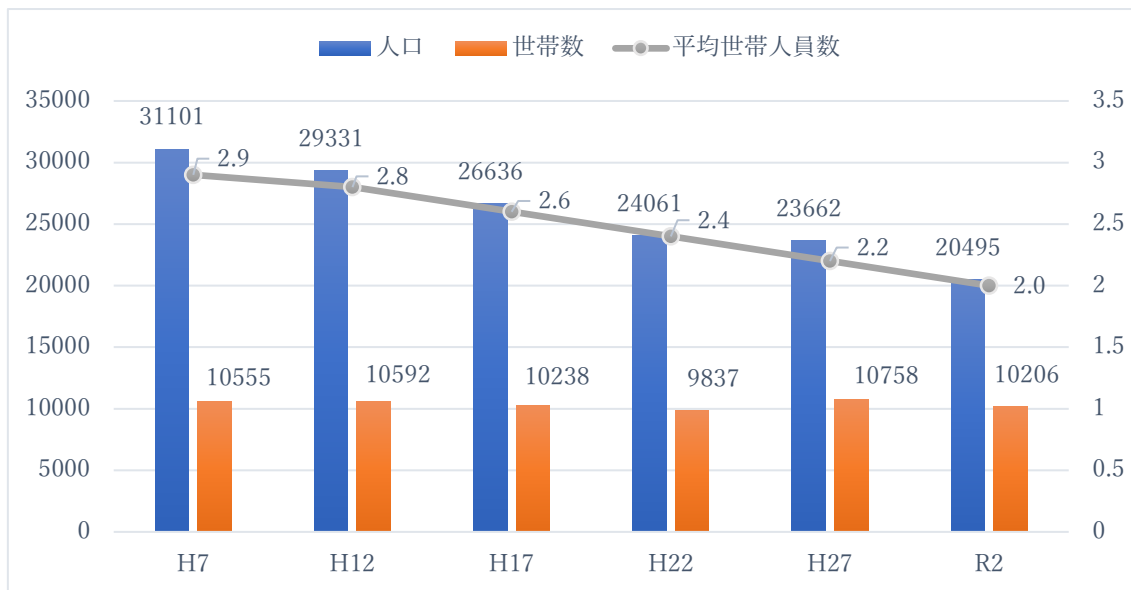


第2章 障がいのある人を取り巻く現状

1 統計による愛南町の状況

(1) 人口・平均世帯人員の推移

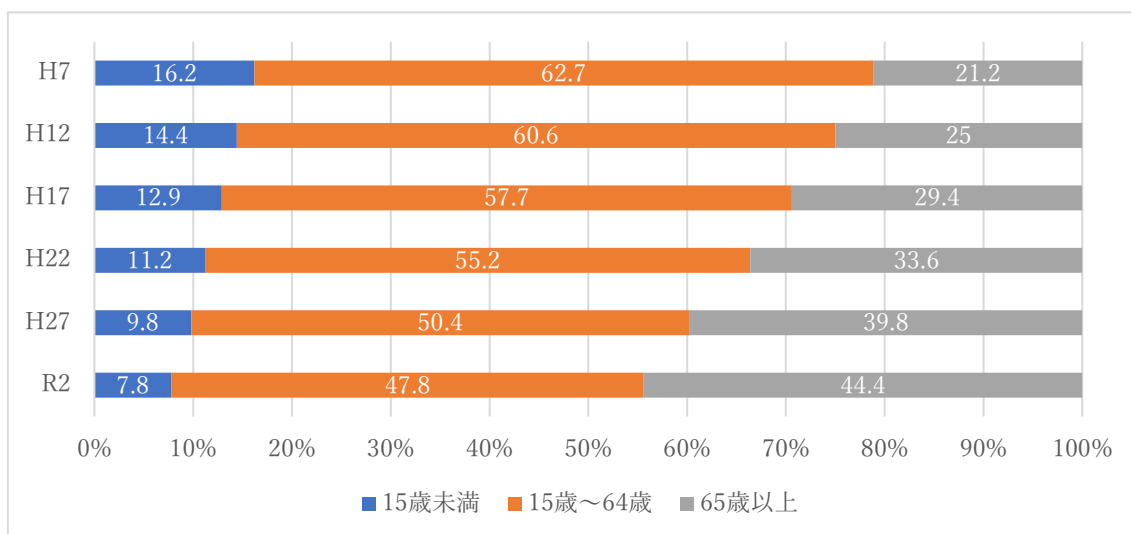
人口は昭和25年(49,359人)をピークに減少を続け、令和2年には20,495人となり、1世帯当たり平均世帯人員数は2人となっています。



※国勢調査引用、令和2年度は住民基本台帳(R3.1.1現在)より引用

(2) 年齢階層別人口割合の推移

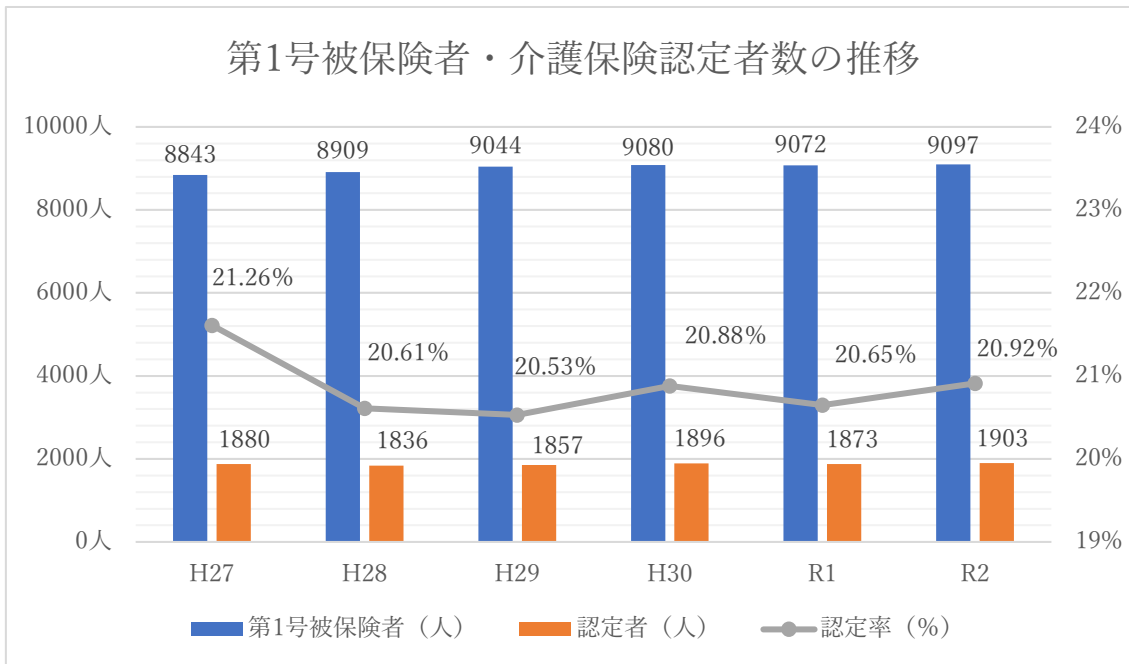
平成7年以降、15歳未満の年少人口割合は65歳以上の老年人口割合を下回り、令和2年には、15歳未満の年少人口割合は7.8%まで減少し、65歳以上の老年人口割合は44.4%に増加しました。15歳以上64歳以下の生産年齢人口割合は、昭和60年以降減少を続け47.8%となっています。



※国勢調査引用、令和2年度は住民基本台帳(R3.1.1現在)より引用

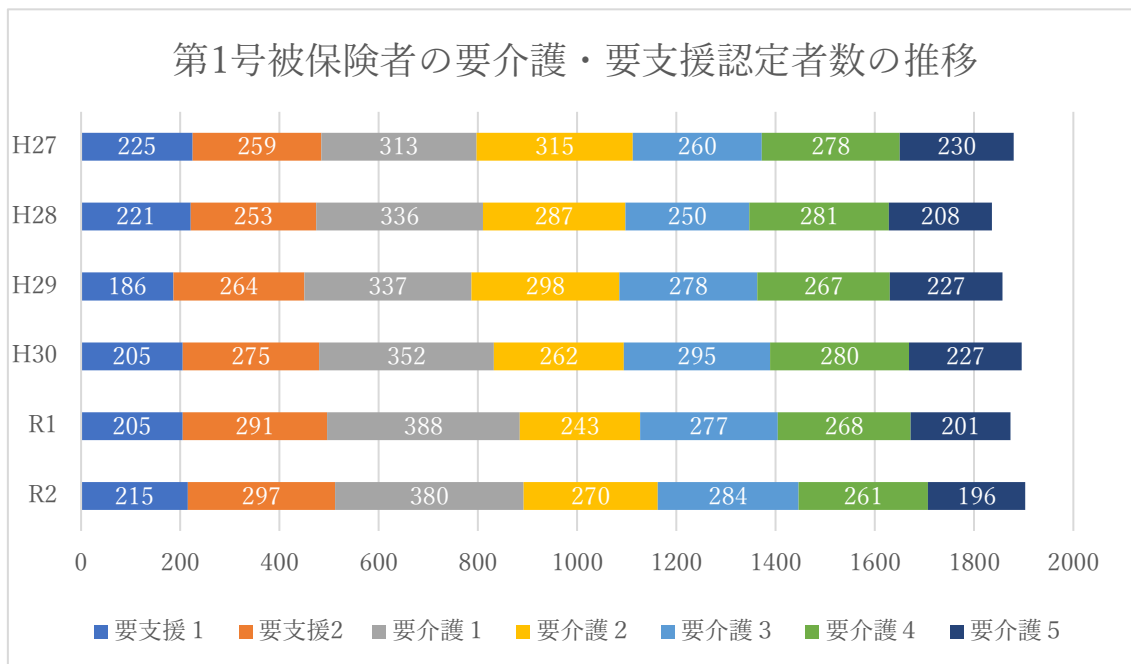
(3) 介護保険認定の状況

第1号被保険者はわずかではありますが年々増加しています。要支援・要介護認定者は年により微増・微減はありますが大幅な増減はみられません。また、認定率は平成25年をピークに20%台で推移しています。令和2年の第1号被保険者は9,097人、認定者は1,903人で、認定率は20.92%でした。



※介護保険事業状況報告書令和2年10月分より引用

認定区分については、要介護4以上の人は減少傾向にありますが、要支援2・要介護1の人は増加傾向となっています。



※介護保険事業状況報告書令和2年10月分より引用

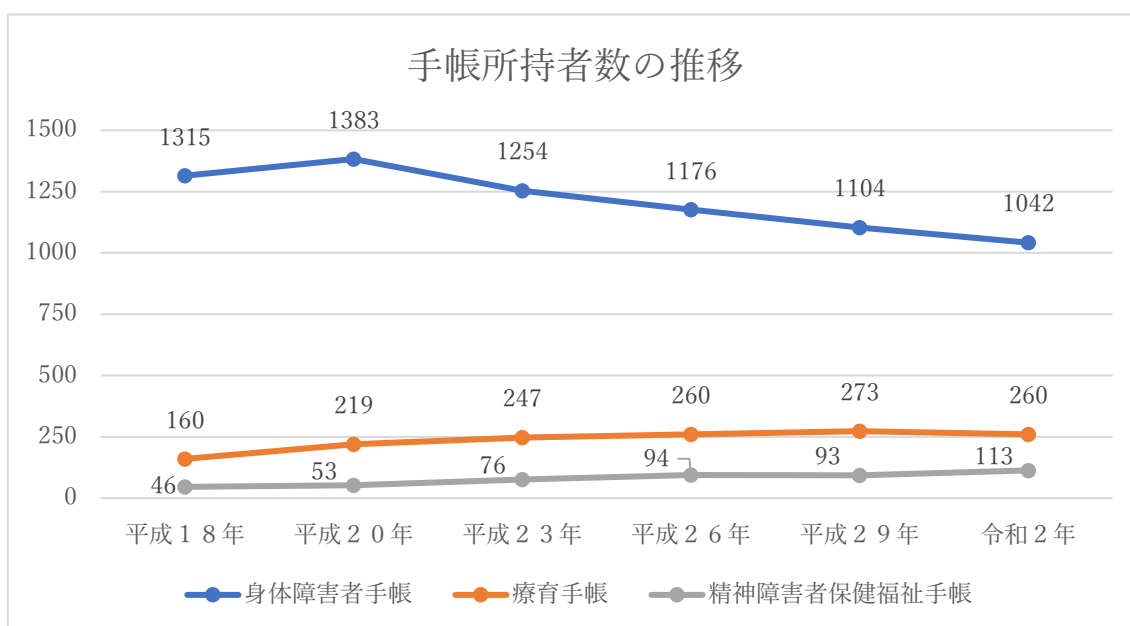
2 障がいのある人の状況

(1) 障がい者（児）の推移（障害者手帳所持者等）

（基準日 4月1日）

区 分		平成 18 年	平成 20 年	平成 23 年	平成 26 年	平成 29 年	令和 2 年
身体障害者手帳	1 級	408	449	440	323	395	379
	2 級	266	281	246	237	209	190
	3 級	184	188	147	205	127	122
	4 級	266	278	272	271	251	255
	5 級	110	104	88	77	71	56
	6 級	81	83	61	63	51	40
	計	1,315	1,383	1,254	1,176	1,104	1,042
療育手帳	A	69	106	117	111	105	101
	B 1	67	78	75	79	85	73
	B 2	24	35	55	70	83	86
	計	160	219	247	260	273	260
精神障害者保健福祉手帳	1 級	7	10	23	18	16	16
	2 級	37	37	50	69	65	86
	3 級	2	6	3	7	12	11
	計	46	53	76	94	93	113
合 計		1,521	1,655	1,577	1,530	1,470	1,415

（H20、H23、H26、H29、R2 は計画策定作業年度）



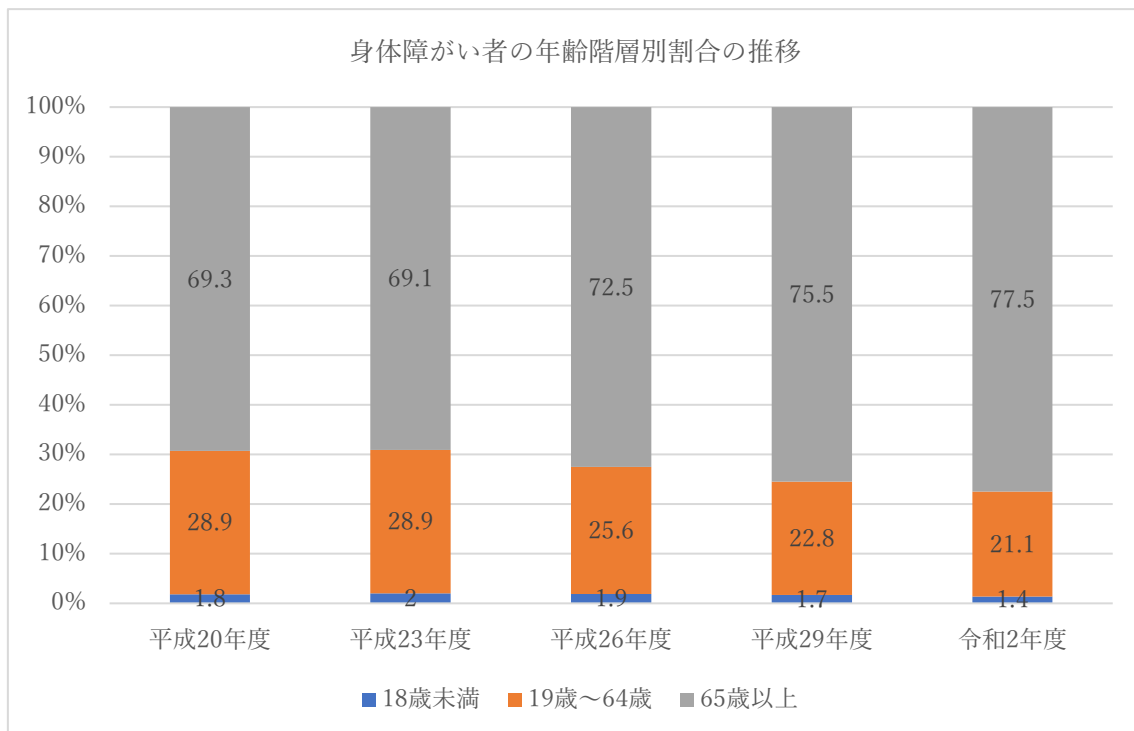
計画策定年度別に障害者手帳所持者数をみると、平成20年度以降減少で推移し、令和2年4月1日現在で1,415人となっています。

手帳種別でみると、人口の減少に伴い身体障害者手帳所持者数は減少していますが、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳所持者は、わずかではありますが増加で推移しています。

(2) 身体障がい者（児）の状況（身体障害者手帳所持者）

年齢階層別でみると平成20年度から65歳以上は増加傾向、19歳～64歳までは減少傾向、18歳未満は1～2%の間で推移しています。

先天性の方は少なく、病気やケガなどにより障がいになる方が多いため65歳以上が全体の7割と多く年齢階層が低くなると割合が下がってきます。



令和2年の身体障害者手帳の障害種別では、肢体不自由が519人（49.8%）と約半数を占めています。次いで内部障害が367人（35.2%）、視覚障害が91人（8.7%）、聴覚・平衡機能障害が57人（5.5%）、音声・言語・そしゃく機能障害が8人（0.08%）となっています。

等級別にみると1級が379人（36.4%）、2級が190人（18.2%）、3級が122人（11.7%）、4級が255人（24.5%）、5級が56人（5.4%）、6級が40人（3.8%）となっています。

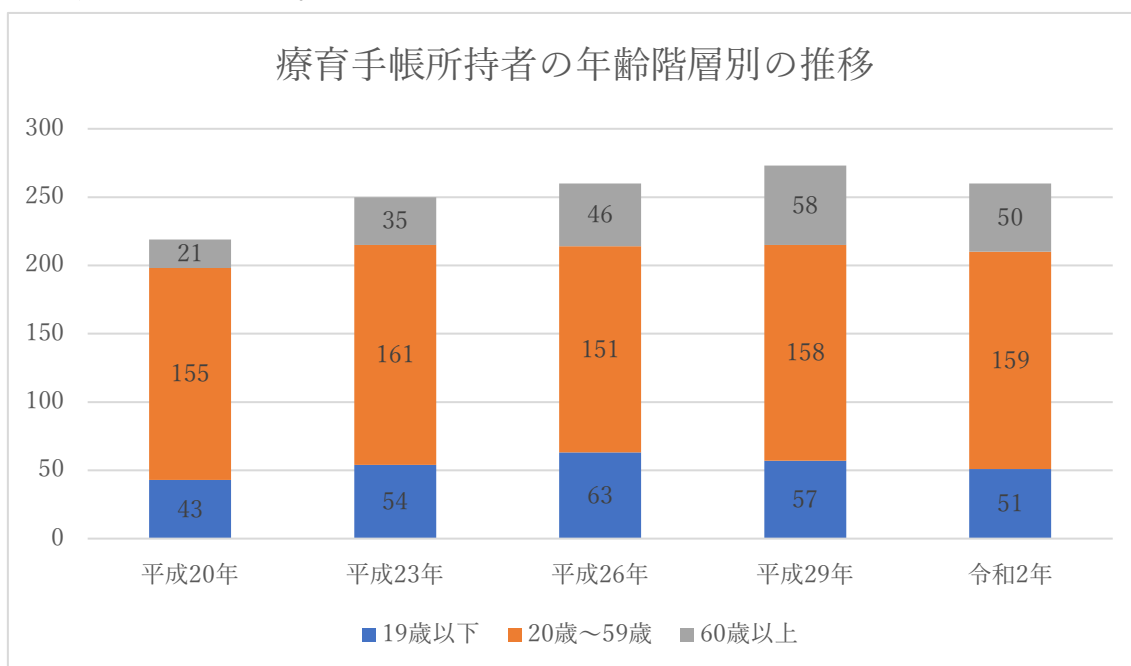
身体障害者手帳の交付状況

令和2年4月1日現在

	年齢層	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
視覚障害	0歳－18歳	0	0	0	0	0	0	0
	18歳－39歳	0	0	1	0	0	0	1
	40歳－64歳	4	5	0	1	2	0	12
	65歳－	26	30	5	8	5	4	78
	計	28	35	6	9	6	4	91
聴覚・ 平衡機能	0歳－18歳	0	2	0	0	0	0	2
	18歳－39歳	0	1	0	0	0	0	1
	40歳－64歳	2	3	1	2	0	2	10
	65歳－	1	13	5	12	0	13	44
	計	3	19	6	14	0	15	57
音声・ しゃく やく・ 言語・	0歳－18歳	0	0	0	0	0	0	0
	18歳－39歳	0	0	1	0	0	0	1
	40歳－64歳	0	0	1	0	0	0	1
	65歳－	0	0	6	0	0	0	6
	計	0	0	8	0	0	0	8
肢体不 自由	0歳－18歳	2	2	0	1	0	2	7
	18歳－39歳	9	1	0	1	0	0	11
	40歳－64歳	31	31	15	21	16	5	119
	65歳－	70	101	48	116	33	14	382
	計	112	135	63	139	49	21	519
内部障 害	0歳－18歳	1	0	2	1	0	0	4
	18歳－39歳	3	0	4	0	0	0	7
	40歳－64歳	41	0	2	15	0	0	58
	65歳－	189	1	31	77	0	0	298
	計	234	1	39	93	0	0	367
合計	0歳－18歳	3	4	2	2	0	2	13
	18歳－39歳	12	2	6	1	0	0	21
	40歳－64歳	78	39	19	39	18	7	200
	65歳－	286	145	95	213	38	31	808
	計	379	190	122	255	56	40	1042

(3) 知的障がい者（児）の状況（療育手帳所持者）

年齢階層別でみると年度によって微増、微減はありますが基本的には横ばいで推移をしています。



療育手帳の交付状況

令和2年4月1日現在

	A			B 1			B 2			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
0歳～19歳	10	4	14	5	6	11	19	7	26	34	17	51
20歳～39歳	12	12	24	9	8	17	21	13	34	42	33	75
40歳～59歳	22	20	42	12	11	23	11	8	19	45	39	84
60歳以上	7	14	21	15	7	22	6	1	7	28	22	50
	51	50	101	41	32	73	57	29	86	149	111	260

(4) 自立支援医療(精神通院)利用及び精神障害者保健福祉手帳の交付状況

令和2年4月1日現在

自立支援医療（精神通院） 受給者	精神障害者保健福祉手帳所持者数			
	1級	2級	3級	合計
343	16	86	11	113

※343人は自立支援医療（精神通院）を利用して通院されている方の人数になりますので、制度を利用せずに通院されている方や入院されている方の人数は含まれていません。

(5) 支援の必要な児童・生徒

①幼児健診で把握した支援の必要な子ども

愛南町では、1歳6か月、3歳、5歳で幼児健診を実施しています。言語発達遅滞や多動など発達障がい疑いのある子どもの割合は増加傾向にあります。

令和元年度には、251人が受診し43人が要支援となりました。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
要支援人数	22	27	28	36	40	46	44	65	43
要支援率 (%)	5.3	7.5	7.2	9.1	11.5	9.7	12.6	20.9	17.1

②保育所・幼稚園に通っている子どもの状況

平成29年度と比べると、「発達障がい疑いを含め診断のある子ども」は増加しています。

令和3年3月1日現在

区分		1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	合計
発達障がい疑い含 め診断のある子ども	人数	1	1	8	8	13	31
	割合	1.6	1.3	10.3	7.9	11.6	6.7
その他気になる 子ども	人数	19	26	20	40	33	138
	割合	30.6	32.9	25.6	39.6	29.5	29.8

※その他気になる子どもは、25項目の気になる行動で1つでも該当するとカウントされます。

③通級指導教室を利用している児童・生徒

平城小学校、城辺小学校、城辺中学校に通級指導学級を設置し、児童・生徒の特性に合わせた個別の指導を行っています。

令和2年5月1日現在

小学校							中学校				合計
1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	
3	5	3	10	9	6	36	0	5	3	8	44

④特別支援学級に在籍している児童・生徒

特別支援学級は、小学校で7校10学級、中学校で3校6学級が設置されています。

令和2年5月1日現在

小学校							中学校				合計
1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	
4	7	4	4	2	2	23	4	4	7	15	38

3 障がい福祉に関するアンケート調査結果

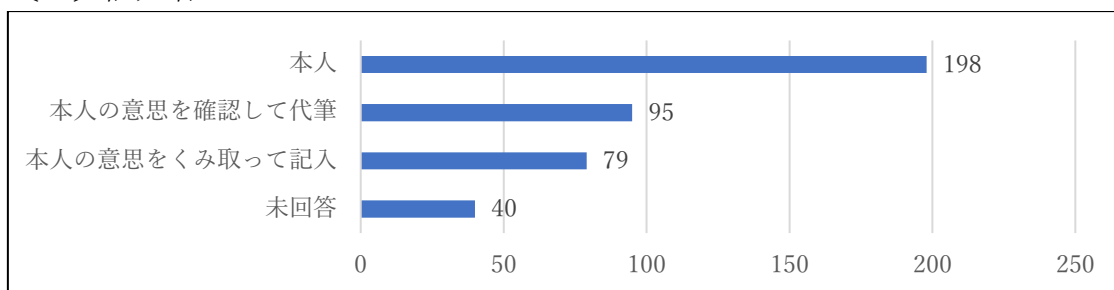
本計画を作成するにあたり、障がいのある人の状況や意見等を把握するため、令和2年6月から7月にかけてアンケート調査を実施しました。

調査方法は、愛南町全域及び町外施設入所者（グループホームを含む）で身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者、障害児通所支援事業利用者、難病患者の人のうち令和2年7月1日時点で65歳未満700名に調査票を送付し、返信用封筒にて回答を得ました。

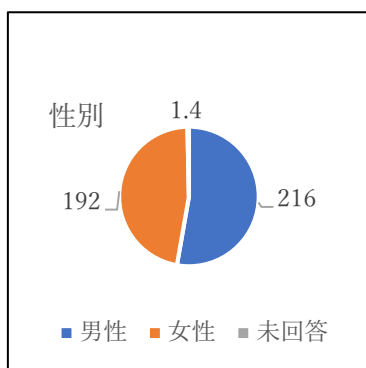
回答者数は、412名で回収率は58.8%でした。

○アンケート回答者（412名）

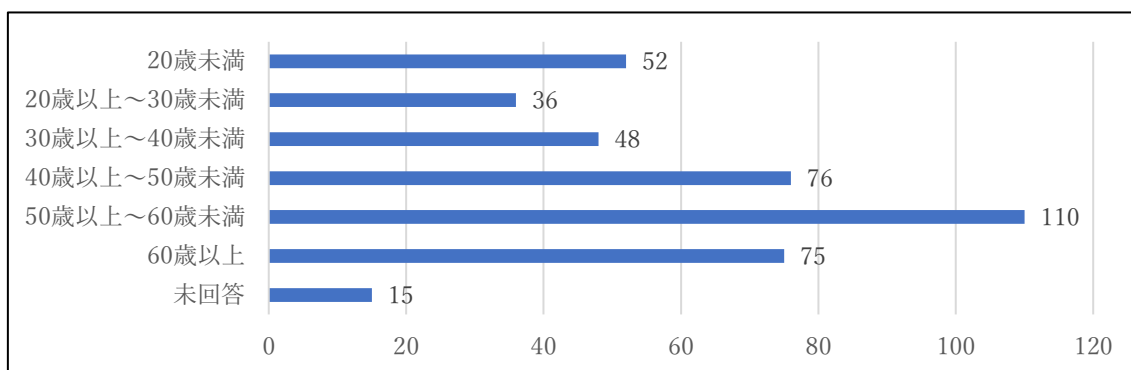
〔1〕記入者



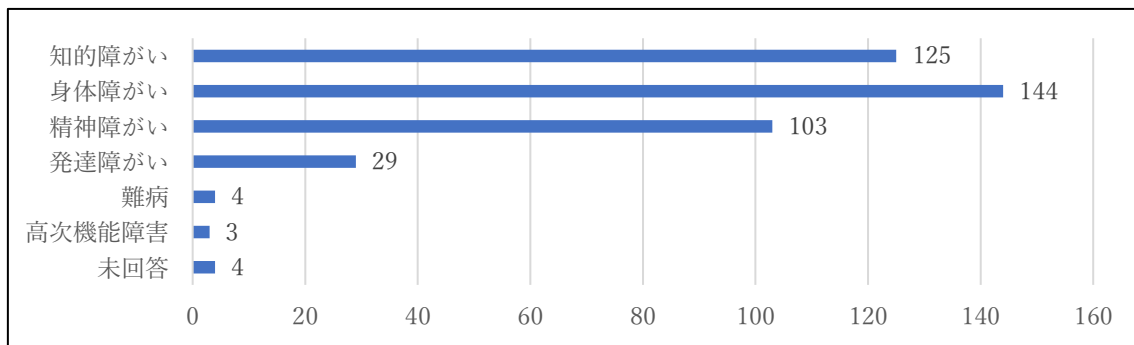
〔2〕性別



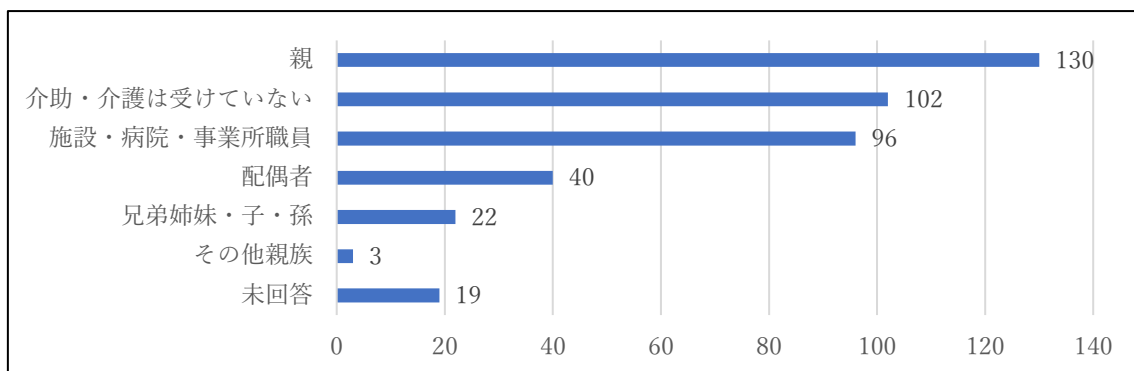
〔3〕年齢区分



〔4〕 障がいについて

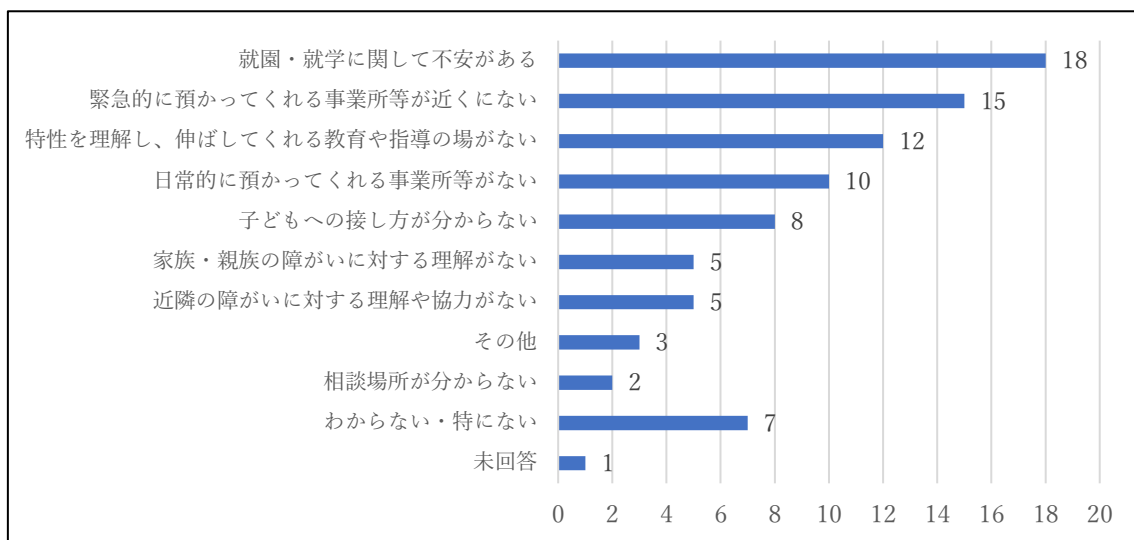


〔5〕 主な介助者等



〔6〕 療育・保育・教育（保護者 複数回答）

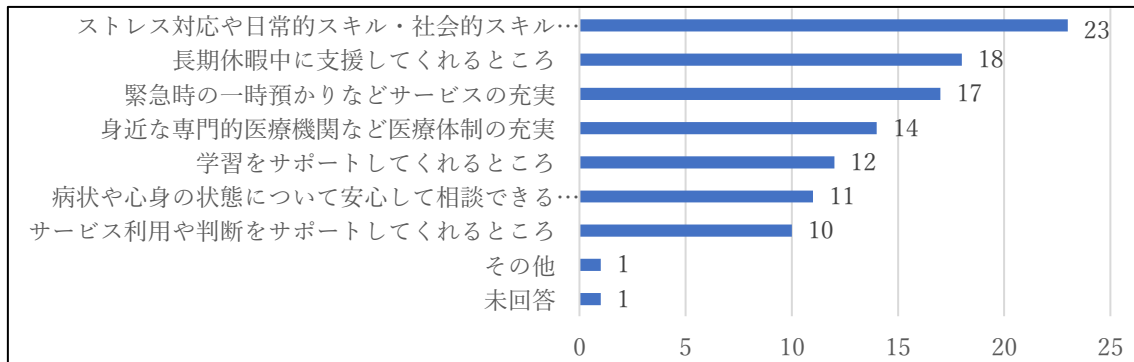
①お子さんについての悩み（N=45）



その他の意見

- ・高校卒業後の就職、年金をもらえるほどではないので働かないと生活ができない
- ・学校の先生の障がいに対する理解、協力ががない
- ・記載なし

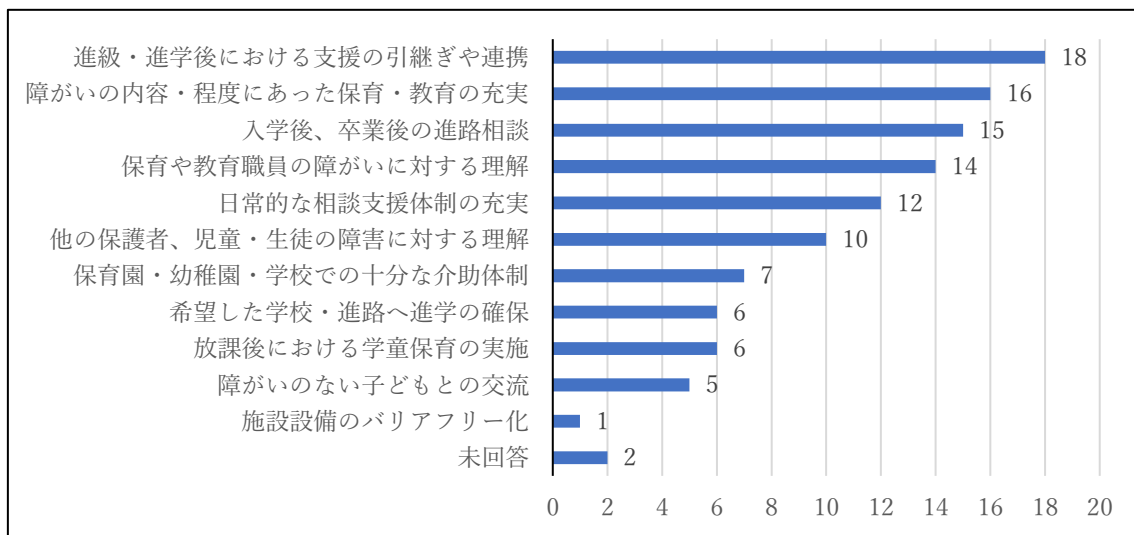
②充実してほしい保健・医療・福祉サービスについて (N=45)



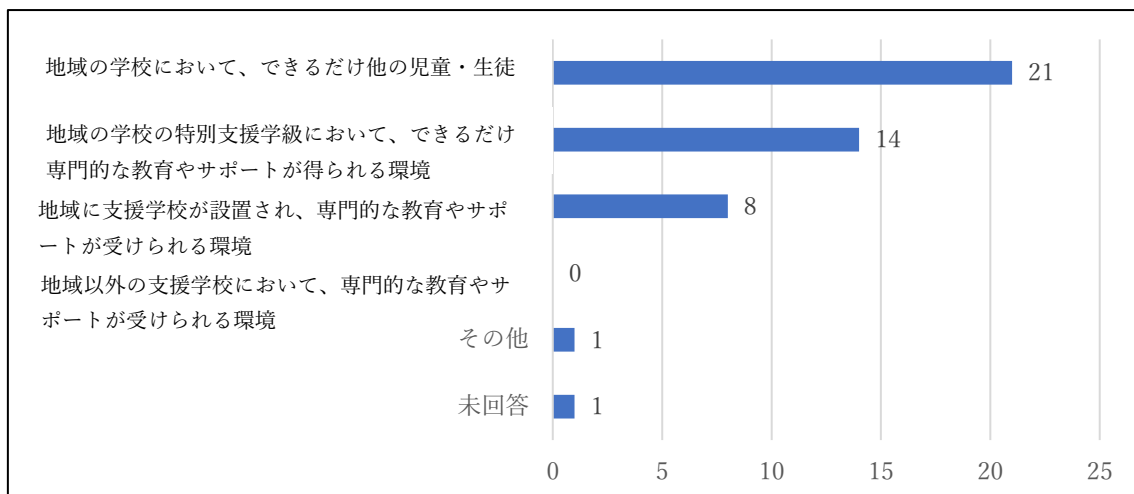
その他の意見

・今は子供が中学生になり、今はあまり何も利用していないが、小さい時はやはり上記の1、2、3を望んでいました

③保育・教育環境について、今後希望すること (N=45)



④お子さんにとって、望ましい就学環境とは (N=45)



〔7〕生活支援

①あなたは、今後どのように暮らしたいですか（N=72）
（施設入所者への質問）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
障害者（児）支援施設で暮らしたい	13	15	0	0	1	0	29
家族と一緒に暮らしたい	10	13	0	0	0	0	23
グループホームで仲間と共同生活がしたい	1	4	0	0	0	0	5
一人で暮らしたい	1	1	0	0	1	0	3
その他	2	5	0	0	0	0	7
無回答	4	1	0	0	0	0	5
計	31	39	0	0	2	0	72

②施設以外で暮らすためには、どのような支援があればよいか（N=72）
※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
障害福祉サービスの充実	16	10	0	0	1	0	27
困ったときに相談できる人や場所があること（相談支援体制の充実）	9	12	0	0	1	0	22
家族の理解	7	10	0	0	0	0	17
地域での障がいに対する理解や受け入れ体制の充実	4	8	0	0	0	0	12
重度障がいに対応したグループホームの整備促進	5	6	0	0	0	0	11
一人暮らしやグループホームでの生活を体験したり、練習できる場所や機会	2	7	0	0	1	0	10
福祉職員の専門性や質の向上	7	2	0	0	0	0	9
緊急時に短期入所やレスパイト入院ができるなど、受け入れ体制の充実	1	6	0	0	0	0	7
障がいに対応した住居の確保や、民間・公共賃貸住宅への入居の配慮	2	2	0	0	0	0	4
働いて収入を得られること		2	0	0	1	0	3
在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	1	1	0	0	0	0	2
その他	4	4	0	0	0	0	8
計	58	70	0	0	4	0	132

③親亡き後のことについて（N=116）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
不安を感じている	13	38	24	2	14	1	92
不安を感じていない	2	2	1	0	2	0	7
分からない	3	8	3	0	2	0	16
その他	0	1	0	0	0	0	1
計	18	49	28	2	18	1	116

④親亡き後のお子さんの生活場所について（N=115）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
施設に入所して暮らしてほしい	5	10	5	0	1	1	22
サービスを利用して在宅で暮らしてほしい	0	4	4	0	0	0	8
グループホームで暮らしてほしい	2	5	0	0	2	0	9
本人が選んだ場所で暮らしてほしい	9	15	16	1	13	0	54
分からない	1	12	3	0	2	0	18
その他	0	2	1	1	0	0	4
計	17	48	29	2	18	1	115

その他の回答

- ・自宅 ・兄弟と ・施設利用の必要がないので、自由に暮らしてほしい
- ・息子に予め話をしていく、まだ若いのでじっくり話してませんが、1、2ももちろん考えています

〔8〕就労について

①あなたは、日中に仕事をしていますか（N＝355）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
正社員として、会社（企業・団体等）に勤めている	18	6	2	1	2	0	29
パート・アルバイト等として、会社（企業・団体等）に勤めている	17	16	14	0	3	1	51
自営業を営んでいる	7	0	2	0		0	9
在宅勤務・内職や家業の手伝いをしている	5	0	2	0		0	
就労継続支援A型を利用して働いている	0	8	9	0		0	17
就労継続支援B型を利用して働いている	7	22	11	0	1	0	41
就労していない	76	63	59	3	20	2	223
計	130	115	79	3	26	2	355

②仕事をしていないのは、どのような理由か（N＝223）※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
年齢のため（学生・高齢）	22	19	13	2	15	0	71
障がいがある理由で仕事ができない	38	23	25	1	1	0	88
休職中または職業訓練中である	0	1	1	0	0	0	2
働きたいが、どこに相談すればよいかわからない	2	3	3	0	0	0	8
希望にあった仕事がない	6	3	6	0	3	0	18
仕事をする必要がない	1	5	3	0	0	0	9
働く意欲がもてない	5	5	11	0	0	0	21
障がいに対する理解に不安がある	3	4	14	0	2	0	23
入院・入所している	12	13	2	0	0	0	27
現状に満足している	5	6	2	0	1	1	15
その他	9	3	14	0	1	1	28
計	103	85	94	3	23	2	310

その他の回答

- ・引越し、転職が重なり、職場仕事に馴染めなかったことと、パソコンに慣れず自信喪失、体力低下もあり一時退職している
- ・障がいのため医師より就労を止められているよくなれば就労したいと考えている
- ・仕事に体力がついていけなくなりすぐ辞めるようになるから
- ・働きたくても透析を始めてから体調不良で働けない
- ・今の障がいの度合いでは出来る仕事がほぼ無い
- ・職場の配置（トル介助に女性スタッフが必ずいるため）
- ・生活保護だが作業をして給料をもらっている
- ・健康上の理由で以前は働いていたが、今は無理
- ・畑で野菜を作っている草を引いたりしている
- ・見目で断られる・コロナによって中断
- ・生活介護で作業をし、給料を貰っている
- ・気が向いたら家の仕事を手伝う（漁業）
- ・闘病中で体力が無い
- ・人と関わるのが嫌
- ・転居予定
- ・失業手当をもらっている期間のため
- ・仕事はしたいがするところがない
- ・夫も障害者になり日々大変である
- ・体が病気で入院や通院をしている
- ・体の不調で仕事ができない
- ・ボランティアに参加している
- ・自力の移動手段がない
- ・体力に不安がある
- ・うつ病、対人恐怖症
- ・生活介護

③障がいのある方の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか
(N=383) ※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
企業ニーズにあった就労訓練の充実	18	17	18	0	7	1	61
企業等における障がい者雇用への理解及び雇用の拡大	38	33	27	3	9	1	111
障がいの状態や程度にあった職種が増えること	77	58	41	2	17	1	196
職場の上司や同僚などの障がいに対する理解	39	33	36	2	14	0	124
バリアフリー等の勤務場所に置ける設備の配慮	22	3	3	1	0	0	29
短時間勤務や勤務日数等の勤務条件の配慮	23	20	32		9	0	84
就労後の職場と生活面でのフォローなど支援機関との連携	18	30	10	1	5		64
計	235	194	167	9	61	3	669

※①で「1 正社員として、会社（企業・団体等）に勤めている」「2 パート・アルバイト等として、会社（企業・団体等）に勤めている」と回答した方にお伺いします。

④現在の仕事をどのようにして見つけられましたか (N=80)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
ハローワーク・町の就職支援センター	8	4	5	0	2	0	19
学校の紹介	2	4	0	0	0	0	6
直接自分で探した	6	2	1	0	0	1	10
知人などの紹介	8	3	5	0	0	0	16
職業訓練校の紹介	0	1	0	0	0	0	1
障害者就業・生活支援センターの紹介	1	1	0	0	1	0	3
サービスを受けているところ（施設・作業所・事業所）の紹介	0	2	1	0	1	0	4
障がいになる前から働いていた	7	0	2	0	0	0	9
その他	1	3	1		1	1	7
未回答	2	2	1				5
計	35	22	16	0	5	2	80

その他の回答

・母が病気になり、私も手伝いをするようになった。 ・前の職場の人が紹介してくれた。 ・兄
・親のすすめ(親が自営業) ・医療機関からの紹介 ・主治医の紹介 ・記載なし(2)

※①で「就労継続支援A型」、「就労継続支援B型」と回答した方にお伺いします。

⑤今後の就労に関する考え方 (N=58)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
一般就労したい	1	7	6	0	0	0	14
就労継続支援B型で仕事をしているが就労継続支援A型で仕事をしたい	1	5	1	0	1	0	8
現在の就労継続支援A型又は就労継続支援B型を引き続き利用したい	5	17	13	0	0	0	35
未回答		1		0	0	0	1
計	7	30	20	0	1	0	58

〔9〕災害対策・消費者行政について

①あなた（本人）は、これまでに悪質（悪徳）商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことがありますか（N=392）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
ある	9	8	15	0	3	0	35
ない	126	113	85	4	26	3	357
計	135	121	100	4	29	3	392

②地震や豪雨、台風などの災害時に、あなた（本人）は、一人で又は支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか（N=412）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
避難できる	82	77	56	0	18	2	235
避難できない	12	13	11	1	3	0	40
わからない	44	31	33	3	7	3	121
未回答	6	4	3	0	1	2	16
計	144	125	103	4	29	7	412

③あなた（本人）は、これまで地域の避難訓練に参加したことがありますか（N=412）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
ある	45	42	26	1	10	1	125
ない	90	77	73	3	18	3	264
未回答	9	6	4		1	3	23
計	144	125	103	4	29	7	412

※③で、「2 ない」と答えた方にお伺いします。

④訓練に参加したことがない理由は何ですか（N=264）

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
訓練の案内（情報）がない	34	28	24	3	6	0	95
訓練がない	18	16	14	0	4	1	53
障がい者の参加への配慮がない	5	5	4	0	1	0	15
他の参加者が気になり、参加を見合わせている	4	4	9	0	3	0	20
訓練は必要ない	5	4	4	0	0	0	13
障がいの程度や体調により、参加を見合わせている	9	5	11	0	1	0	26
介助者等の負担を考え、参加を見合わせている	3	0	1	0	1	0	5
その他	11	12	4	0	1	1	29
未回答	1	3	2	0	1	1	8
計	90	77	73	3	18	3	264

その他の回答

<ul style="list-style-type: none"> ・施設にて定期的を実施している（施設が地域の避難場所になっている） ・帰省して間もなく、一度あった機会には体調不良で参加できず ・日程が合わなかった学校行事が土曜日で重なっていた ・姉と二人で山の畑に行く訓練をしている ・自分で歩くことがままならないため ・仕事の時間の都合で参加できない ・仕事だった 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所での訓練はしている ・事業所で行っている(2) ・施設で行っている(5) ・気力がない ・仕事の為 ・入院中 ・わからない(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所中のため ・人と関わるのが苦手 ・パニックになりそう ・予定が合わなかった ・仕事が忙しい ・気がのらない ・記載なし(3)
---	--	---

⑤地震や豪雨、台風などの災害時に備えて必要な対策は、どのようなことが必要だと思いますか (N=412)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
障がいの特性に配慮した災害情報の提供 (災害の状況や避難場所)	45	30	33	0	11	0	119
避難するときの介助者や支援者の確保	48	45	16	2	9	2	122
障がい特性に配慮した避難場所の確保	59	57	26	1	13	1	157
避難場所での介助者や支援者の確保	36	34	21	1	8	1	101
避難所生活におけるプライバシーを守る対策	39	38	40	3	8	2	130
医療施設や医療設備の確保	36	23	37	2	8	2	108
防災知識の普及・啓発	11	8	14	1	5	1	40
障がいのある人を対象とした地域の避難訓練の実施	11	15	7	0	0	0	33
避難所 (福祉スペース含む) 宿泊体験と反省会	1	3	7	0	2	0	13
その他	9	8	5	1	0	0	23
未回答	16	15	12	0	3	4	50
計	311	276	218	11	67	13	896

その他の回答

<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者本人が避難環境を自分で選べる事 (一般スペースに混ざるか、障害者用スペース (あれば) に行くかを) ・ 障がい、通院、投薬についてマイナンバーで把握されていること ・ 介助者、支援者の向上に向けた学習会、人となりは大切です ・ 避難しなくても良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インスリン等の医薬品の確保 ・ 医療機関が作動する環境 ・ コロナが心配 ・ 特に必要ない ・ わからない (11) ・ 記載なし (3)
--	--

[10] 権利擁護について

①あなた (本人) は、日頃の生活の中で、障がいがあることで、差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか (N=396)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計	
ある	総数	44	37	34	1	5	2	123
	うち施設入所者	5	3	7	0	0	0	15
ない	93	85	66	3	23	3	273	
計	137	122	100	4	28	5	396	

※①で、「ある」と答えた方にお伺いします。

②それは、どのような場所で感じましたか (N=123) ※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
役場や公共施設	7	2	2	0	0	0	11
学校	8	19	3	0	5	0	35
仕事を探すときや就職した職場	11	8	13	1	2	0	35
障害福祉サービス提供事業所	7	3	3	0	0	0	13
外出先	16	12	8	1	0	1	38
バスなどの公共交通機関を利用したとき	5	3	1	0	1	1	11
余暇を楽しむとき	4	3	3	1	0	0	11
住んでいる地域	7	13	15	0	0	0	35
家庭	1	1	13	0	0	0	15
その他	4	2	1	0	0	0	7
未回答	2	0	0	0	0	1	3
計	72	66	62	3	8	3	214

その他の回答

・親戚の人に会った時 ・職場 ・職場体験の時 ・病院、マスク使用、マスク使用の時 ・記載なし(3)

※①で、「ある」と答えた方にお伺いします。

③それは、どのような時に感じましたか (N=123) ※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
十分に話を聞いてもらえなかった	9	10	10	0	1	0	30
自分の考えや希望を聞いてもらえなかった、又は尊重されなかった	17	8	7	0	4	0	36
お店や施設の利用を断られた、又は利用にあたり条件を付けられた	3	0	1	1	0	0	5
自分の障がいに対応する設備・施設(階段、エレベーター、スロープ、トイレ、休憩所、利用案内など)がなかった、又は配慮されなかった	12	3	0	0	0	0	15
困ったときに周りの人の手助けがなかった、又は断られた	4	8	4	0	0	0	16
自分の障がいに対して理解されていないと感じた	19	21	23	0	3	0	66
直接、偏見的、差別的な発言をされた、又は態度をとられた	15	24	15	1	1	0	56
その他	3	2	5	0	1	1	12
計	82	76	65	2	10	1	236

④親亡き後のお子さんの金銭管理等についてお伺いします (N=115)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
成年後見制度を利用して管理してもらう	3	6	1	0	2	0	12
兄弟姉妹に管理してもらう	8	20	6	0	2	0	36
親族に管理してもらう	1	2	0	0	4	0	7
本人が管理できる	3	4	9	2	5	1	24
わからない	2	19	9	0	5	0	35
その他	0	1	0	0	0	0	1
計	17	52	25	2	18	1	115

その他の回答

・本人が管理できるようになってほしい

〔11〕 社会参加について

①この1年間に、あなた（本人）は、趣味やスポーツ、芸術文化活動などの社会活動をしましたか（N=412）※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
コンサートや映画、スポーツ鑑賞	19	13	8	1	7	1	49
スポーツ活動	11	17	4	1	3	0	36
芸術・文化活動	8	7	6	1	2	1	25
旅行、ドライブ	48	37	27	3	11	1	127
生涯学習活動	2	0	3	0	1	0	6
趣味のサークル活動	5	4	6	0	1	0	16
ボランティア団体の活動	7	8	5	1	0	1	22
町役場の行事、催し	10	19	3	0	1	0	33
自治会などの活動、行事	27	16	8	0	4	0	55
障がい者団体の活動、行事	20	36	9	0	3	0	68
参加できる活動場所がない	7	10	8	0	2	0	27
活動したいと思うができない	17	19	18	0	6	0	60
活動したいとは思わない	21	13	23	0	4	2	63
その他	10	5	7	0	2	1	25
未回答	18	10	14	0	3	3	48
計	230	214	149	7	50	10	660

その他の回答

<ul style="list-style-type: none"> ・ うみらいくの外国人研究員の家族やベトナム技能実習生等のお世話 ・ 調子のいい時と悪い時の波が酷くてできない時はできない ・ 団体活動でも、なにか活動できる場所が欲しい！ ・ 今年はコロナウイルスの流行で参加出来ていない ・ まさかのボールで活動された ・ 本屋、スーパー ・ 何もしたことがない、していない、わからない (7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神的な浮き沈みがあり、活動低下中 ・ 肢体不自由なため社会活動参加なし ・ デイケアサービスによる活動 ・ 体調不良により活動出来ない ・ 買い物 ・ 記載なし(4)
---	---

②あなた（本人）は、どうすれば、社会活動にもっと参加しやすくなると思いますか（N=412）※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
施設や公共交通機関のバリアフリー	32	10	4	1	2	0	49
施設の利用料減免や活動費の助成などの経済的支援	31	22	25	0	3	1	82
バリアフリーマップなど、障がいに対応した情報の提供や問合せ方法の充実	16	8	4	0	1	0	29
介助者や手話通訳などの支援	21	10	1	0	1	0	33
一緒に活動を行う仲間や団体、その活動に参加するための情報	36	47	35	0	12	1	131
スポーツ活動における、適切な指導者	6	19	6	0	7	0	38
芸術・文化活動における、適切な指導者や相談窓口	7	13	8	0	4	1	33
障がいに対する差別や偏見の解消	28	36	38	1	11	0	114
その他	5	1	4	0	0	1	11
特になし	38	36	29	2	9	2	116
未回答	15	11	13	0	0	3	42
計	235	213	167	4	50	9	678

その他の回答

- ・JRの精神障害者手帳割引が適用されてほしい(身体はあるのに!!)
- ・この1年位上記8点と、この、その他の項多い8点が減点されると
- ・ストレスを無くしたい
- ・親の理解
- ・わからない(2)
- ・仕事が忙しく時間が取れない
- ・社会活動の選択肢を増やす
- ・記載なし(3)

[12] 悩み事、困り事について

①あなた(本人)の現在の悩み事は何ですか(N=412) ※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
経済的なこと(お金のこと)	53	23	48	0	6	1	131
健康や体力のこと	73	35	52	1	3	1	165
進学や学校のこと	3	12	2	0	9	1	27
就職や仕事のこと	17	21	24	1	4	0	67
医療的ケアのこと	11	6	4	0	0		21
住んでいる家の環境のこと(住宅確保を含む)	10	11	14	1	1	0	37
福祉サービスのこと	9	7	1	0	0	1	18
将来の生活のこと	60	53	49	2	9	0	173
生きがいや楽しみのこと	15	12	11	0	4	0	42
恋愛や結婚のこと	3	11	9	1	2	0	26
周囲の障がいに対する理解	9	10	7	0	5	1	32
地震など災害のこと	24	28	18	3	1	2	76
悩みは特にない	20	26	12	0	9	1	68
その他	6	5	6	0	1	1	19
未回答	4	5	3	0	0	2	14
計	317	265	260	9	54	11	916

その他の回答

- ・兄が亡くなって1人になった時の事
- ・子供が進学する時のこと等
- ・高齢の両親のこと
- ・通院時支援、買い物時の交通手段
- ・スマホなどの使い方
- ・家族、親について(2)
- ・コロナ
- ・訴えなし(4)
- ・特にない(2)
- ・不明(2)
- ・記載なし(3)

②あなた(本人)の将来について、不安に思うことは何ですか(N=412)

※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
経済的なこと(お金のこと)	65	43	63	2	8	1	182
健康や体力のこと	77	37	46	2	5	1	168
進学や学校のこと	2	6	1	0	11	1	21
就職や仕事のこと	13	33	19	0	9	0	74
医療的ケアのこと	14	6	8	0	0	1	29
住んでいる家の環境のこと(住宅確保を含む)	10	9	12	1	3	0	35
福祉サービスのこと	11	7	4	0	1	1	24
将来の生活のこと	64	56	48	2	6	1	177
生きがいや楽しみのこと	10	10	11	0	3	0	34
恋愛や結婚のこと	5	8	9	0	2	0	24
周囲の障がいに対する理解	8	7	6	0	4	1	26
地震など災害のこと	30	25	20	3	1	0	79
悩みは特にない	13	15	8	0	6	1	43
その他	6	6	4	0	0	1	17
未回答	3	7	5	0	0	3	18
計	331	275	264	10	59	12	951

その他の回答

- ・病院には行ったり行かなかったりなので、お金を切られたら困る
- ・通院や買い物時の交通手段、通院時の支援
- ・いつまで家に帰れるか
- ・働けるところがないこと
- ・家族のことについて
- ・娘の将来の事
- ・子供の事
- ・今はない
- ・姉の事
- ・死後の事
- ・不明(6)
- ・記載なし

[13] 相談について

①あなた（お答えくださる方）は、困りごとがある時、誰（どこ）に相談していますか（N=412）※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
家族・親族	103	77	74	3	21	4	282
友人・知人	47	27	33	1	7	1	116
町役場の障がい福祉担当者	19	13	10	0	5	0	47
愛媛県の関係機関の担当者	4	2	3	0	1	0	10
相談支援事業所（相談支援専門員）	12	37	5	0	4	0	58
障害福祉サービス提供事業者、施設職員	27	58	8	0	7	0	100
愛南町社会福祉協議会	5	8	5	0	0	0	18
教育機関等 （学校、幼稚園、保育所など）	1	9	2	1	8	0	21
病院や診療所の医師や看護師	33	26	66	2	9	0	136
障害者団体、患者団体、家族会	1	2	1	0	0	0	4
民生・児童委員、地域の役員	1	1	0	0	0	0	2
職場の上司や同僚	8	11	6	1	2	0	28
相談したいが、誰（どこ）にも相談できない	4	2	0	0	3	0	9
相談先がわからない	7	6	5	0	3	0	21
その他	6	5	5	0	0	2	18
未回答	6	6	1	0	2	1	16
計	284	290	224	8	72	8	886

その他の回答

- ・娘の事業所の総務の方(管理者)一生懸命して下さいます
- ・本人より私たちの方が困る、人と話さない
- ・持ち屋なので相談のしようがない
- ・生活支援センター
- ・2回一言ずつ母様に、あとは占い
- ・他県の関係機関の担当者
- ・役場、保健師
- ・Face Bookの当事者グループ
- ・病院のカウンセラー
- ・障害者就業
- ・相談しない、できない(2)
- ・訴えなし(3)
- ・記載なし(4)

②福祉や生活に関する相談支援体制は、現在のあなたにとって十分ですか
(N=412)

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
現在の体制で十分	32	37	26	1	8	1	105
ほぼ十分だが、さらに充実させてほしい	40	32	20	2	9	0	103
現在の体制では不十分	17	18	16	0	2	0	53
わからない	48	35	37	1	9	4	134
未回答	7	3	4	0	1	2	17
計	144	125	103	4	29	7	412

③今後の福祉や生活に関する相談支援体制として、どのようなことを希望しますか（N=412）※複数回答

回答項目	身体	知的	精神	難病	発達	その他	計
相談窓口を分かりやすくしてほしい	44	43	39	1	5	1	133
身近な地域で相談できるようにしてほしい	27	32	34	1	11	0	105
休日・夜間相談ができるようにしてほしい	20	22	16	0	6	0	64
相談窓口を一本化してほしい	16	13	10	0	5	0	44
自宅等への訪問相談を行ってほしい	13	22	14	1	2	0	52
相談員（相談支援専門員、行政職員など）の質を向上させてほしい	19	15	19	1	6	0	60
その他	17	19	7	1	1	3	48
未回答	42	29	21	0	7	3	102
計	198	195	160	5	43	7	608

その他の回答

- ・年1回程度、小中学校の通学路を1時限目をついやしても保育所、小中学校の前経由にと決めて欲しい
- ・相談窓口が一つになると相談しづらい部分もでてくるので相談場所を多様にしてもらいたい
- ・今のところ十分ですが、親が亡くなった後の事が心配
 - ・地域でイベントを開いてほしい
- ・介護保険で相談にのってるので十分です(家族)
 - ・現時点では思い浮かばない
- ・訪問看護を受けているが、人数が少なく大変そう
 - ・電話での定期的な連絡
- ・年金の金額を上げてほしい
 - ・今のままでよい
 - ・将来の事など
 - ・長野院長の診察
- ・現在は特になし
 - ・特にない(13)
 - ・不明(4)
 - ・わからない(11)
 - ・記載なし(7)